

令和3年4月1日

防災加工専門技術者講習会の実施について（ご案内）

令和3年度の防災加工専門技術者講習会を別添実施要領及び案内書の通り開催することとなりましたので、ご案内いたします。

本講習会は、防災物品の製造又は防災処理における品質管理に当たる防災加工専門技術者に求められる知識と技能を習得するための講習会です。

本講習会を受講して修了考査に合格した方に、「防災加工専門技術者講習修了証」を交付いたします。

受講を希望される方は、受講申請書に必要事項を記載し、**写真1枚は受講申請書の所定欄に貼りつけ、残り1枚の写真を同封の上（貼りつけない）お申し込み下さい。**

〈写真〉

- ・最近6ヶ月以内に撮影した2.5cm×3cmのもの
- ・正面、無帽、無背景、上三分身像でカラーのもの。
- ・写真の裏面に氏名を記載して下さい。

受講料の支払い方法は次ページ〔7. 申込方法〕をご覧ください。

防災加工専門技術者講習会 受講案内書（令和3年度）
（大阪会場）

- 1 日 時 10月14日（木）・15日（金）の2日間
午前9時30分～午後5時（受付開始 午前9時）
- 2 場 所 大阪マーチャンダイズ・マート（OMM）ビル
大阪府大阪市中央区大手前1-7-31
1階 グラン、地下1階 ギャラリー
（交通案内）
天満橋駅（地下鉄谷町線、京阪本線）から徒歩1分
- 3 申込先 公益財団法人 日本防災協会 大阪事務所
〒540-0011 大阪府大阪市中央区農人橋2-1-30
谷町八木ビル 1階
TEL 06-6947-8844 FAX 06-6947-8846
- 4 申込期間 7月1日～9月30日 但し、定員に達し次第締め切ります。
- 5 受付人員 32名
- 6 受講料 30,000円+（消費税）3,000円=33,000円
- 7 申込方法 受講申請書に講習会受講料（33,000円）を同封して、現金書留で申込先あてご送付下さい。または、下記口座にお振込みいただき受講申請書は別途ご送付下さい。天災等のため受講できない場合を除き、本人の都合で欠席する場合は前日迄にご連絡下さい。このほかは納入金の返却はいたしませんので、予めご了承下さい。
● 振込み銀行名：みずほ銀行 四ツ橋支店
口 座：（公財）日本防災協会 普通202868

8 受講上の注意事項

- 新型コロナウイルス感染症対策として、マスクは各自持参下さい。

室内では常時マスクを付けて下さい

各日とも受付時、検温を実施します。高熱（37.5℃以上）の方は受講をお断りする場合があります。

入・退室時、アルコールによる手・指消毒をして下さい。

- (1) 受講に必要な資料（受講券、「防災物品」関係規程集、テキストI・II、見本布など）は、受講申請及び入金確認後にお送りします。（当日はこれらの資料を必ずご持参願います）講習当日には、各自筆記用具をご用意下さい。
- (2) 講習会場には駐車場がありませんので、必ず電車等の交通機関を利用してご来場下さい。
- (3) 定刻に開講しますので、受付に要する時間の余裕をみて遅刻しないようにご出席下さい。
- (4) 講習科目を全て受講しなければ、修了考査は受けられません。
- (5) 薬品を扱う実験も行いますので、軽装でのご来場をおすすめします。
- (6) 講習会場への直接の電話は、お取り次ぎしません。
- (7) 電話等による照会は必ず、前記の当協会大阪事務所宛にお願いします。
- (8) 昼食は各自でご用意願います
(弁当を持参されるか、近隣の食堂等を利用願います。)

9 修了考査結果の通知

- (1) 修了考査の結果は、講習修了後、概ね30日後に通知します。
- (2) 修了考査に合格した方には、修了考査結果通知とともに講習修了証を送付します。

10 講習修了証取得後の留意事項

- (1) 講習修了証を取得した方は、知識及び技術更新のため、当該講習課程を修了した日から5年以内ごとに、再講習を受けていただいています。
- (2) 再講習についてのお問い合わせ及び再講習受講案内の請求は当協会の本部又は各事務所宛にお願いします。

防災加工専門技術者講習会実施要領

項 目	内 容	時 間
講 義	1. 防災関係法令について（テキスト使用）	1 時間 30 分
講 義	2. 繊維の基礎知識（テキスト使用） (1) 繊維の分類 (2) 繊維の製品	
講 義	3. 各種繊維の性能について（テキスト使用） (1) 繊維の鑑別（見本布使用）重点項目 (2) 引張り強度、乾湿強力比 (3) 水分率 (4) 耐薬品性 (5) 繊維用語	2 時間
講 義	4. 防災燃焼試験法	
講 義	5. 防災薬剤について（テキスト使用） (1) 適応性からみた防災薬剤の分類 (2) 各種防災薬剤の特性、長所、短所、毒性等 (3) 防災薬剤と染料の関係 (4) 防災薬剤と濃度の関係	3 時間
講 義	6. 防災加工について (1) 防災加工前に行う諸準備 (2) 防災薬剤の調整 (3) 温度、湿度と防災加工の関連性 (4) 防災効力の確認 (5) 防災加工失敗品についての対処法	
実 習	7. 各種機材の使用方法について (1) 比重計 (2) Ph 試験紙 (3) 顕微鏡 (4) その他	
実 習	8. 各種繊維の鑑別について (1) 薬品による方法 (2) 燃焼による方法 (3) 顕微鏡を用いる方法	2 時間
考 査	9. 筆 記	1 時間
考 査	10. 実 技	1 時間 30 分